

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

第10期（2021年度）事業計画

2021年度のソーシャルコーディネートかながわ（以下、ソコカナ）の活動は、基本方針として掲げた

- [1] 多様な主体による対話と協働の場づくりと、これに伴う各種の支援活動、
 - [2] 市民や企業による寄付・社会貢献活動への参加促進
- を柱に事業活動を進めます。

1. NPO 支援

県民活動サポートセンター「ボランティア活動相談窓口」での相談対応は今年度で10年目を迎えます。ボランティア活動相談窓口は、神奈川県内におけるボランティア活動の広がりや、NPO法人・ボランティア団体等の団体運営の自立を支える重要な相談拠点であり、引き続き県民活動サポートセンターと協力して、同窓口における相談対応の充実を図ります。

他方、昨年度はコロナ禍での事業活動において、公共施設内で受託業務として行う相談窓口には運営上のさまざまな制約があることが見えてきました。社会状況の変化に柔軟に対応する活動がいつでも行えるよう、ソコカナの自主事業の展開を進める必要があります。

今年度は、市民活動・NPO相談の対応力を高めるための自主勉強会を開催します。また将来的な事務支援業務事業の展開に向けた検討を進めます。

●アドバイザー相談業務（県委託事業）

- ・県民活動サポートセンターにて、ボランティア活動に関する相談対応（火曜～土曜の午後（4時間）、面談、電話、メール、Zoomで対応）

●市民活動・NPO支援の自主事業体制づくりに向けた準備

- ・市民活動・NPO相談の対応力を高めるために自主勉強会の開催
- ・NPO法人等の事務支援事業づくりに向けた検討

2. 企業・大学等への支援、協働推進に向けた取組み

地域社会貢献活動に関心を寄せる企業や大学向けの相談対応・研修などを行い、企業、大学関係者等の地域課題や NPO への理解・関心を深める一助となり、課題解決に向けた行動を促します。

また、NPO との連携・協働や、地域社会貢献に関心のある企業・大学等を、地域で活動する NPO とつなぎます。

●企業・大学の社会貢献相談（自主事業、「アドバイザー相談業務」の一環）

- ・企業・事業者、大学関係者等からの相談・研修への対応

3. 市民参加・地域人材育成

かながわコミュニティカレッジ運営業務などを通して、地域で活動する市民・団体の学びを支え、活動する人々の交流や活動への参加を推進します。

●かながわコミュニティカレッジ事務局運営（県委託事業）

- ・カレッジ講座を通して、NPO や地域活動への市民参加を推進

4. 災害時に機能する被災者支援のための民間ネットワークづくり

（「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（準備会議）」の活動推進）

ソコカナは、認定 NPO 法人市民セクターよこはま、認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワークと三者で協力して「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（準備会議）」（通称：みんなな準備会議）を 2020 年 4 月に立ち上げました。

みんなな準備会議は、神奈川県が大災害の被災地となったときに備え、被災者のくらしの復興をさまざまな団体が連携して長期に亘り支える仕組みをつくるため、県内の団体等の連携・協働を進めるネットワークづくりをめざして活動を進めます。

本活動推進のため、ソコカナのメンバー1名がみんなな準備会議に出向します。